

1 対象事項への質問及び回答

【No.2】安城市公共施設等総合管理計画の策定【経営管理課】

質問	回答
意見反映の余地があまりないということですが、予算額の500万円は、こういった事に使われるのか。	コンサルへの委託料になります。 主なコンサルへの委託業務は、市全施設のデータ分析とカテゴリ毎の方針の策定になります。

【No.3】第4次安城市男女共同参画プラン策定【市民協働課】

質問	回答
アンケートは前回の方法と同じなのか。	前回のアンケートは平成23年に実施していますが、対象者は無作為抽出の2,000人でした。今回は、無作為抽出市民の2,000人に加え、町内会、市内事業所、高校生へのアンケートも実施する予定です。アンケートの配布方法は、前回と同様、郵送配布、郵送回収を想定しています。
ヒアリングは前回も実施したのか。	第3次プラン策定時にも市民活動団体、農業従事者、事業所、中学生へヒアリングを実施しました。
ヒアリングの内容は決まっているのか。	現時点では決まっていません。前回のヒアリング内容やアンケートの回答を参考に決めていきたいと思っています。
高校生へのアンケート、中学生へのヒアリングという調査のは正しいか。	高校生へのアンケートは実施していきたいと考えています。中学生へのヒアリングについては、記載誤りになります。現在のところ、中学生へのヒアリングは実施する予定はありません。

【No.4】次期安城市市民協働推進計画の策定【市民協働課】

質問	回答
ワークショップについて、1回の開催で「地縁とテーマ型の協働」と言うなかなか重い内容を理解し、意見出しができるのか。	ワークショップについて、平成28年度に1回程度、平成29年度に5回程度開催する予定です。そのため、進捗状況を見ながら平成29年度のワークショップの進め方を検討していきます。 なお、ワークショップのテーマについては、まだ決定ではなく、アンケート結果等を見ながら決めていきたいと考えています。

【No.7】 あんじョイプラン8の策定【高齢福祉課】

質問	回答
介護をしている家族の方を対象にしているアンケートはありますか。	要支援・要介護認定者対象のアンケートの中に、介護をしている家族の方に回答いただく項目があります。
ワークショップの構成メンバーに市民公募が入っていないのはなぜか。	老人クラブより、65歳以上で介護経験者の方を推薦いただいております、介護経験者の一般市民に構成メンバーに入っているためです。

【No.8】 次期食料・農業・交流基本計画の策定【農務課】

質問	回答
予算500万円となっていますが、どういったことに使われるのか。	基本計画策定のための委託料です。
協議会に市民公募委員が入っていない理由は何か。	農業に関連する専門的内容の審議等を行うため、精通した市民を市民代表として委員に選定しているためです。

【市民参加の推進全般に関するご意見等】

質問	回答
市民参加と市民協働の違いは何か。	市民参加は、市が施策を企画し、実行する上で、その企画立案の段階で市民がかかわり、意見等を反映することをいいます。 市民協働は、市民、地域団体、市民活動団体、事業者、市が地域の課題を解決するために、企画段階から実行に至るまで、お互いの特性を生かし、協力し合いながら、対等の立場で行動していくことをいいます。
調査シートの中には、団体のみが参加している事業もあるが、それを市民参加という視点でチェックしてよいのか。	市民参加条例上では、構成メンバーに関係なく、審議会等、パブリックコメント、市民説明会、ワークショップを市民参加の手法としています。
市民政策提案こそが市民の成熟度を測る重要なバロメータと考えますが、担当課としてどう考えているのか。	市民政策提案は、提案できる対象事項が限られており、高いレベルが求められています。そのため、この市民政策提案が市民から提出されることは、市民の市政への関心度が高いと判断できると思います。しかし、まだ1件も実績がない現状のため、担当課としては、今後も広報あんじョう等に掲載するなど市民政策提案のPRを行っていきます。

市政情報コーナーの設置場所を1階の玄関周辺など目につくところに移動し、市民が市政へ興味を持ってもらいやすくすることはできないか。

平成28年度より、北庁舎1階の玄関付近に市政情報コーナーを設ける予定です。そして、平成29年6月に中心市街地拠点施設（アンフォーレ）が完成後は、アンフォーレに市政情報コーナーを移す予定です。